

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コー	計画番号	計画期間	実施期間
始良地域 1市4町	462187	1	平成20年度 ～23年度	平成20年度 ～21年度
活性化計画の区域				
霧島市、加治木町、始良町、蒲生町、湧水町				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%)	備考
			B/A	
地域産物の販売量の増加	27.97%	45.20%	161.60%	

(コメント)

始良地域の間伐材を活用した素材生産量の増加目標：27.97%（H20～24の目標生産量：208,250m³÷H15～19の実績（見込）生産量：162,735m³×100-100）に対し、H15～19の実績生産量：169,799m³、H20～24の実績（見込）生産量：246,546m³となり、増加率は45.20%と目標を達成した。

計画 (H15～19)	計画 (H20～24)	実績 (H15～19)	実績 (H20～24)
H15：29,554	H20：37,450	H15：29,554	H20：43,255
H16：31,420	H21：40,300	H16：31,420	H21：42,367
H17：29,079	H22：42,300	H17：29,079	H22：49,934
H18：36,182	H23：43,200	H18：36,182	H23：54,990
H19：36,500	H24：45,000	H19：43,564	H24：56,000
合計：162,735	合計：208,250	合計：169,799	合計：246,546

出典：森林組合決算書

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー	事業内容及び事業量			事業実施主体
リサイクル施設整備	グラップル付トラック：1台			始良東部森林組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
始良東部森林組合	平成20年度	平成20年度	平成20年度	
事業の効果				
高性能林業機械を導入することにより、条件の悪い場所など搬出できなかった現場も間伐材の搬出が可能となるなど生産性が向上したことによって、間伐材を活用した素材生産量が増加し、林業の活性化が図られた。				

事業メニュー	事業内容及び事業量			事業実施主体
リサイクル施設整備	スイングヤーダ：1台			始良西部森林組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
始良西部森林組合	平成20年度	平成20年度	平成20年度	
事業の効果				
高性能林業機械を導入することにより、条件の悪い場所など搬出できなかった現場も間伐材の搬出が可能となるなど生産性が向上したことによって、間伐材を活用した素材生産量が増加し、林業の活性化が図られた。				

事業メニュー	事業内容及び事業量			事業実施主体
リサイクル施設整備	グラップル付トラック：1台（10tトラックベース）			北始良森林組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
北始良森林組合	平成21年度	平成21年度	平成21年度	
事業の効果				
高性能林業機械を導入することにより、条件の悪い場所など搬出できなかった現場も間伐材の搬出が可能となるなど生産性が向上したことによって、間伐材を活用した素材生産量が増加し、林業の活性化が図られた。				

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>本地区は人工林を中心に7齢級以上が大半を占め森林資源が充実しており、利用間伐等の森林施業が最も必要な時期となっている。</p> <p>高性能林業機械を導入することによって、急傾斜地や大型機械のみでは搬出不能な条件不利地域等からも間伐材を搬出し、結果、間伐材を活用した素材生産量の増加率が事業活用活性化計画に掲げた目標を上回ることができたことから、生産性の向上に成果があったと認められる。</p> <p>また、高性能林業機械の導入により労働環境が大幅に改善され、省力化による生産コスト縮減など林業の活性化に寄与した。</p>
--

4 第三者の意見

<p>(コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各森林組合とも間伐に積極的に取り組んでおり、間伐材の生産量は計画を上回るペースで増加している。 この事業で導入した機械は、それぞれの森林組合の間伐材生産システムの中で活用されており、間伐材の搬出や集運材の効率化に効果を発揮し、素材生産量の増大に貢献していると認められる。 当始良地域は、県内の他地域に先んじて人工造林が行われ、また除間伐等も早くから積極的に行われてきており、県内では最も人工林資源が充実した地域である。 このようなことから、県の森林・林業の活性化を図る上での当該地域への期待は大きいものがある。 こうしたことを踏まえ、この事業で導入した機械を含めた素材生産システムのさらなる改善や施業の集約化、路網整備による計画的かつ効率的な森林整備の推進など、当地域の森林・林業の活性化に向けたいっそうの取組が期待される。 <p>(財団法人鹿児島県林業担い手育成基金 常務理事 竹ノ内 洋行)</p>
